

平成23年度当初予算 施策別概要

421 自然環境の保全・再生と活用

(主担当部：環境森林部)

| | | |
|-------|---------------|---------|
| 42101 | 自然環境の保全 | (環境森林部) |
| 42102 | 自然とのふれあいの場の確保 | (環境森林部) |
| 42103 | 生物多様性保全活動の推進 | (環境森林部) |

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 生物多様性を含めた自然環境を保全・再生・活用している

< 現状と課題 >

- ・ 自然環境については、これまで、開発行為の規制等により、その保全をはかってきたところですが、開発や乱獲のほか、外来種の繁殖等により、野生動植物の生息環境の悪化が進んでおり、生物多様性の保全が課題となっています。
- ・ 生物多様性の宝庫とも言われる里地里山については、人が利用しなくなったことにより、生物多様性が失われつつあり、これを保全・再生する必要があります。
- ・ 森林・自然公園や自然歩道などの「自然とのふれあいの場」に対する県民のニーズが高まっていることから、施設の適切な維持管理が必要となっています。
- ・ 県民、事業者、NPO、行政等の各主体が協働して生物多様性の保全活動を進めていくことが必要です。
- ・ 増えすぎた野生鳥獣による農林水産物や希少植物への被害が深刻になっていることから、適正な生息密度となるよう個体数を管理することが重要となってきています。

< 平成23年度の実行方向 >

多様な自然環境を保全するため、三重県自然環境保全地域等の管理や、里地里山などの県民による保全活動を促進します。

豊かな自然と県民とのふれあいを促進するため、自然公園などの施設の整備や維持管理および優れた景観地の情報発信を行います。

希少野生動植物を保全する普及啓発を行うとともに、特に保護が必要として県が指定した希少野生動植物の保全活動を県民と協働して行い、生物の多様性を確保します。

野生鳥獣による農林水産被害の軽減のため生息数や密度調査を実施し、適正な保護管理を進めます。

< 主な事業 >

里地里山保全活動促進事業【基本事業名：42101 自然環境の保全】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 5 野生生物保護費)

予算額：(22) 1,451千円 (23) 2,178千円

事業概要：里地里山をはじめとする身近な自然環境を保全する県民の自発的な活動を支援するとともに、放置された竹林の再生や竹材の有効利用の取組を市町と連携して支援します。

(里地里山活動団体への助成 10箇所以上)

自然公園利用促進事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの場の確保】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 4 自然保護費)

予算額：(22) 24,123千円 (23) 28,151千円

事業概要：県内のすぐれた自然の風景地を県民の資産として継承するため、自然公園の保護及び利用の適正な管理を行います。（自然公園施設維持管理 7施設）

希少生物保全事業【基本事業名：42103 生物多様性保全活動の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 5 野生生物保護費）

予算額：(22) 1,778千円 (23) 1,244千円

事業概要：ホームページ等を利用して、生物多様性の重要性について啓発を行い、啓発活動を行うとともに、指定希少野生動植物種の適切な保護を進めます。

生物多様性確保事業【基本事業名：42103 生物多様性保全活動の推進】

（第4款 衛生費 第6項 環境保全費 5 野生生物保護費）

予算額：(22) 14,330千円 (23) 9,731千円

事業概要：計画的な鳥獣保護行政を推進するため第11次鳥獣保護事業計画を策定するとともに、農林業被害の大きいニホンジカ、イノシシの特定鳥獣保護管理計画を策定します。